

Victory

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館
*学校 HP > 学校図書館 > #図書館の日常随時更新中

NO.5

令和7年8月

2学期が始まりました。

同じ夏休みでも学年によって、その過ごし方にかなりの違いがあっただろうと思います。自分なりに充実した時間を過ごせた夏でしたか？

さて、この時期から恒例の朝陽祭ムード一色になっていきます。中1、高1のみなさんにとっては、初めての生徒一丸となって創造する文化・芸術活動です。

聞こえてくる合唱のハーモニーも、日ごとに完成度を増していることを感じます。それはまるで、一本一本の糸が織りなし、完成するタペストリーのようです。

季節は処暑を過ぎ、朝夕の空気の変化と共に気がつけば蝉の鳴き声がしなくなっていることに気づきました。季節は移ろっているのですね。

まだまだ暑さは続きますが、ギアを徐々に上げながら充実した2学期を送りましょう。今学期もあなたの学校生活をサポートしていきます。

長期貸出図書の返却はお済みですか？



夏休み前に借りた本の返却期間は、以下のとおり。

8月20日（水）～27日（水）

必ずこの期間内に返却を済ませましょう。



ビブリオバトル校内予選実施

先月の通信で「8月22日（金）放課後、本校の代表を決めます。」
とお知らせしていましたが、日程を変更しました。

8月29日(金)午後4時～午後4時40分 図書閲覧室

で実施します。今回は、4名の生徒がエントリーしてくれました。

そこで、本校の代表を決めるにあたり、たくさんのオーディエンス（聴衆）参加を募集します。4名の発表を聴き、「読んでみたい！」と思う一冊にあなたの一票を投じませんか？朝陽祭前のプレ文化活動ともいえるビブリオバトル。4名の熱い語りを通して、新しい本との出会いがあなたを待っています。



お知らせ1

新着図書紹介 No.5,6,7 を
アップしました。

学校HPと図書館 Classroom (Library Labo) にアップしました。

6月、7月、店頭購入で入った本はこちらから見ることが出来ます。

なお、図書館廊下掲示板にも貼りだしています。活用してください。

お知らせ2

切り抜き速報休刊。

全国の地方新聞および全国紙の記事がテーマごとにまとめられた切り抜き速報が月刊誌として本校でも特に高校3年生の受験準備等で活用されていましたが、この新聞業界の不況もあり、7月を最後に休刊となりました。

今後は、自分の進路および興味関心のあるテーマは元より、時事問題も新聞の紙面を意識的に読み情報収集する習慣をつけましょう。ほとんどのYouTube、SNSのネット記事は断片的な情報で構成されています。まずは新聞そのもので収集を。



7月こんな本が入りました。

一部抜粋して紹介します。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。



~「言葉の海を泳ぐ」~



『中高生のための新書のすすめ』

岩波ジュニア新書編集部編（岩波書店）S019イ

新書の入り口として創刊されたジュニア新書。その目的は、知性の獲得と、自らが体感し育む感性や想像力を養うサポート的存在。新書の世界へようこそ。



『東大生に教える日本史』 本郷和人著

（文藝春秋）S210ホ

「歴史学は推理の学問である！」と言い切る著者は、東京大学教養学部で学生に歴史学の講義を行う人気歴史学者。
「え！？暗記しなくていいの？」…そう、歴史は考える学問。あなただって今までに歴史の渦中にいるのですよ！

『先輩、実験が終わりません』

理系女ちゃん著（KADOKAWA）407リ

ああ、なんとこれが研究室
ライフのリアル！理系大学生
の日常が見事に垣間見える。
「文系は知っておきたい！理
系は共感が止まらない！」文
理問わず読んでいただきたい。



『イラストで見る台湾 屋台と露店の図鑑』 ジョン カイ シアン絵・文（原書房）673シ

宮崎から飛行機で3時間。身近な国台灣の露天・屋台100種をイラストで紹介。台湾の日常の風景と共に、まずはこの本で台湾へ旅行した気分になってみよう。



『ボードゲームづくり入門』 岩浪ジュニス

タシリーズ 高橋晋平著（岩波書店）798タ

以前から気になっているボードゲーム。その制作者である著者は、ボードゲームのつくり方を通して、探究する面白さを伝えてくれる。君も作ってみないか？



『さみしくてごめん』

永井玲衣著（大和書房）914ナ

哲学者永井さんのエッセイ。かれこれ10年、全国の至るところで哲学対話を展開する著者の、日常のなかにある「さみしさ」をすくいとり、静かに考えを巡らす一冊。



お待たせしました。国語の神様 M先生の「国語科通信」です。

今回は、三浦しおん「舟を編む」（2011年刊行）に関する内容です。小説は国語辞典編纂に携わる人達が人生をかけて言葉と向き合う物語、既に読んだ人も多いと思います。また、先日はドラマもありましたね。

図書館にミニコーナーを設置します。辞書を編むことに関する本や三浦しおん作品を集めていますので、ぜひこの機会にあなたの読書履歴の一ページに加えてください。



~「哲学対話」イベントのお知らせ~

授業等で体験した人も多いと思います。

街の本屋さん「津江書店」（大淀にあります）を対話の場として、7月から定期的に始まりました。

ファシリテーターは宮崎公立大の八重樫徹先生（哲学者）です。日頃の「？」を持ち寄って、一つのテーマについて、自分が考えていることを言葉にし、聴き合います。

約束は、「よくきく・自分の言葉で・人それぞれ」であきらめない」を心がけて、集った仲間（見ず知らずの人ともいつしか仲間になっている）と言葉のキャッチボールをするのが哲学対話です。

発言しなくても、誰かの話をひたすら「きく」だけでも大丈夫。「きく」ことで新たな気づきがあり、「きいてもらうこと」で不思議と自分の心に穏やかな風が吹く…そんな時間を体験してみませんか？

場所：津江書店 対象：だれでも

日時：毎月第3土曜日 16:15～17:45



Information

